

News Release

2021年8月19日
株式会社博報堂D Yメディアパートナーズ
デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム株式会社

**博報堂D YメディアパートナーズとDAC、
"Digital AaaS プラニング"を支えるシステム「Audience Dive」の
対応メディアに「Yahoo! JAPAN」と「LINE」を追加**

株式会社博報堂D Yメディアパートナーズ（本社：東京都港区、代表取締役社長：矢嶋弘毅、以下 博報堂D Yメディアパートナーズ）は、広告メディアビジネスのデジタルトランスフォーメーションを果たす次世代型モデル「AaaS」（※1）を提唱し、広告主の広告効果最適化を通して事業成長に貢献するソリューション群を提供しています。

“Digital AaaS”は、生活者 DMP によるターゲット指標やリーチ、CPA などの広告主の KPI に対する広告効果を最大化するための、プランニング・バイイング・モニタリングを実現するソリューションです。

AaaS™ Digital AaaS™

Advertising as a Service

「Digital AaaS プラニング」はデジタル広告の効果最大化のプランニングを実現するためのソリューションで、2021年3月に博報堂D Yメディアパートナーズとデジタル・アドバタイジング・コンソーシアム株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長 CEO：島田雅也、以下 DAC）が提供開始した、データクリーニングを活用し広告オーディエンスの多面的な深掘分析をダッシュボード上で提供するシステム「Audience Dive」（商標登録出願中）（※2）を搭載することで、配信時の設計にとらわれない自由度の高いデジタル広告プランニングを可能にしています。



このたび、博報堂D YメディアパートナーズとDACは、「Audience Dive」（商標登録出願中）の対応メディアに「Yahoo! JAPAN」とコミュニケーションアプリ「LINE」を追加し、「Digital AaaS プラニング」の対応領域を広げることで、デジタル広告の効果をより横断的に分析することを実現しました。



「Audience Dive」は、データクリーンルームを活用しているため、広告配信時に設定していないターゲティングセグメントであっても、広告効果を事後分析することができ、一度の広告出稿によってオーディエンスを広く分析することが可能です。また、管理画面では確認できない切り口での分析を、ダッシュボード上で継続的に確認することができるため、広告効果の定期的な改善に繋げることができます。

追加された「Yahoo! JAPAN」と「LINE」のデータクリーンルーム/広告配信データの特徴は以下のとおりです。

- Cocoon : Ad データだけではなく、Ad 関連以外の Yahoo! JAPAN サービスデータにもアクセスもでき、配信まで行うことが可能な環境。
- LINE 広告配信データ : LINE 広告や、LINE 公式アカウントのデータを活用した広告分析が可能な環境。

博報堂 D Y メディアパートナーズと DAC は、これからもデジタル広告の効果最大化を可能にするさまざまなサービスを順次導入し、博報堂 D Y グループの各広告事業会社とともに広告主の事業目標の達成に貢献いたします。

(※1) 広告業界で長らく続いてきた「広告枠の取引」によるビジネス（いわゆる「予約型」）から「広告効果の最大化」によるビジネス（いわゆる「運用型」）への転換を見据えた、博報堂 D Y メディアパートナーズが提唱する広告メディアビジネスのデジタルトランスフォーメーションを果たす次世代型モデル〈商標登録出願中〉

(※2) 2021年3月18日リリース『博報堂 D Y メディアパートナーズと DAC、AaaS 第四弾として、広告のオーディエンスを多面的に深掘り分析できるソリューション「Audience Dive」を開発し、提供を開始』

https://www.hakuhodody-media.co.jp/newsrelease/service/20210318_29402.html

本件に関するお問い合わせ

■株式会社博報堂 D Y メディアパートナーズ

広報室 山崎・彭 TEL:03-6441-9347

E-mail:mp.webmaster@hakuhodody-media.co.jp

コーポレートサイト URL:<https://www.hakuhodody-media.co.jp/>

■デジタル・アドバイジング・コンソーシアム株式会社

戦略統括本部広報担当 E-mail:ir_inf@dac.co.jp

コーポレートサイト URL:<https://www.dac.co.jp/>

▼ダッシュボードのイメージ

Proprietary + Confidential

Platformer横断のAudience Dive

Audience DiveではGoogle / 「Yahoo! JAPAN」 / 「LINE」それぞれのデータクリーンルームを活用し同一のダッシュボードで同様のアウトプットを提供可能。



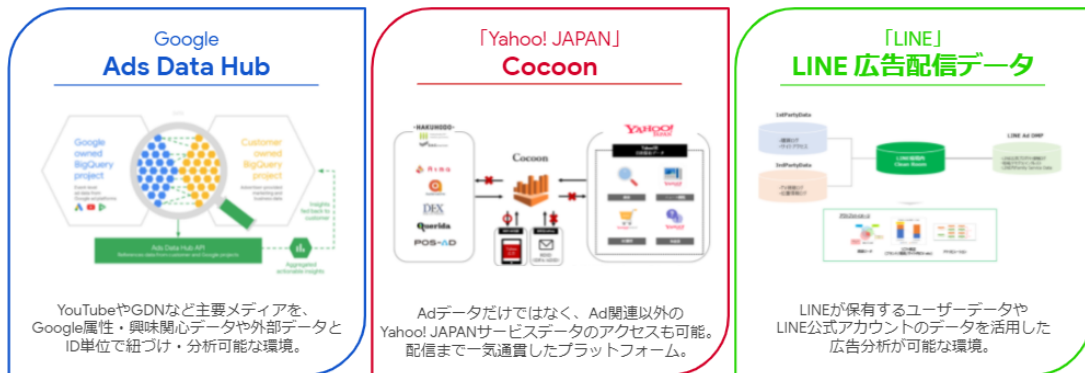
||||| Nishimura DT media partners | DAC Consortium

▼各プラットフォームのデータクリーンルームの特徴

Proprietary + Confidential

利用する各データクリーンルームの特徴

Audience Diveでは各Platformerのデータクリーンルーム/広告配信データを活用しており、それぞれ特徴が異なるため、Audience Diveのメニューもそれに応じて若干異なります。



YouTubeやGDNなど主要メディアを、Google属性・興味関心データや外部データとID単位で紐づけ・分析可能な環境。

Adデータだけではなく、Ad関連以外のYahoo! JAPANサービスデータのアクセスも可能。配信まで一気通貫したプラットフォーム。

LINEが保有するユーザーデータやLINE公式アカウントのデータを活用した広告分析が可能な環境。

||||| Nishimura DT media partners | DAC Consortium